

# N

# F

# C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

日本アニメーション映画史

A History of Japanese Animation

7月6日(火) - 8月29日(日)

展示室(7階)

[企画展]

造形作品でみる

岡本忠成アニメーションの世界

Artworks from the Animation Films of Tadanari Okamoto

[常設展]

展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

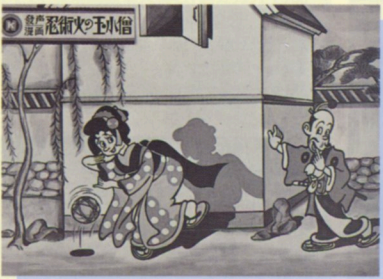
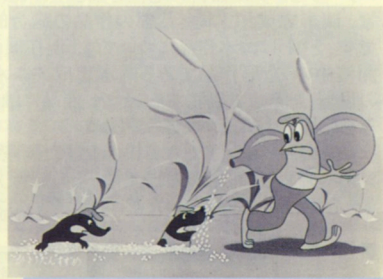
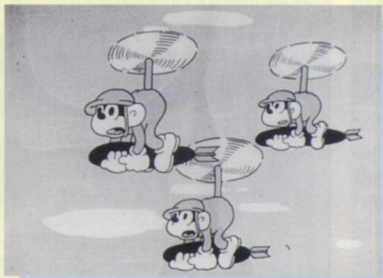
The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

4月6日(火) - 6月27日(日) / 7月6日(火) - 8月29日(日)

7-8月の休館日:

月曜日および6月28日(月) - 7月5日(月)、8月30日(月) - 9月2日(木)



東京国立近代美術館フィルムセンター  
**National Film Center**  
The National Museum of Modern Art, Tokyo



日本アニメーション映画史  
A History of Japanese Animation

2004  
7-8

NFCカレンダー  
2004年7-8月号



# 大ホール 上映作品

## 日本アニメーション映画史 A History of Japanese Animation

一コマ一コマを人間の手で創造し、その膨大な積み重ねによって生み出されるアニメーション映画ほど、作り手の豊かな想像力が求められるジャンルもないでしょう。そして現在、劇場用、テレビ用から個人作家の実験作に至るまで多種多様な作品が国際的な注目を集めている日本のアニメーションが、世界に誇る芸術であることは誰も疑い得ません。

そうした日本のアニメーションの源流と展開を、フィルムセンターの所蔵フィルムを通じて探る企画がこの「日本アニメーション映画史」です。長短篇あわせて230本以上もの作品を上映するこの企画には、二つの大きな柱があります。まず一つは、「漫画映画」の草創期である大正時代から、日本初の本格的商業プロダクションである東映動画が軌道に乗る1960年前後までの、多様な傾向の作品を作家別に紹介することです。またもう一つは、1960年代後半から活躍し、アニメーション界に独自の地位を築き上げた二人の作家、岡本忠成と川本喜八郎の作品の総合的な上映です。とりわけ岡本作品については、現在展示室にて開催中の「造形作品でみる岡本忠成アニメーションの世界」と併せて観覧することで、作品に触れる楽しさを倍加させることができるでしょう。

数々のパイオニアたちが築き上げた国産アニメーションの「真髄」に触れるとともに、その想像力の豊かさを心ゆくまで堪能していただければ幸いです。

- 監=監督・演出 構=構成 製=製作 原=原作・原案 脚=脚本・脚色・台詞 撮=撮影 作=作画・漫画・絵 線=線画・線絵 人=人形・人形造形・人形美術・キャラクターデザイン 動=動画・アニメーション・アニメーションデザイン 美=美術 音=音楽・作曲 声=声の出演・語り・解説・ナレーション・はなし
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 作品の製作年は、後に作られた改変版のプリントを上映する場合も、元の製作年を記載しています。

- 協力=プラネット映画資料図書館、横山隆一記念まんが館、長野徹、安東民児、大藤和夫、小松沢甫、田村豊、萩原健吉、横山隆二
- 写真撮影=山口且訓(幸内純一、村田安司の写真)

### 大ホール ● 開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)  
発券=2階受付  
料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円  
● 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。  
● 発券・開場は開映の45分前から行ない、定員に達し次第締切となります。  
● シニア(65歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示下さい。

### I 7/6(火)3:00pm 7/22(木)7:00pm 8/8(日)4:00pm

#### 漫画映画の先駆者たち(計101分)

日本のアニメーション映画作りの黎明は1917年頃とされる。下川凹天、幸内純一(写真)、北山清太郎という3人のパイオニアが手がけた当時の作品は失われたが、それらはいずれも切り紙の手法で製作されていた。幸内が後に自ら会社を興して作った政治教育アニメ『政治の倫理化』、また北山門下の木村白山が文部省の発注で作った教育用作品などが現在残っているが、中でも初期作品『蟹満寺縁起』は後の巨匠内田吐夢も関わった典雅な影絵映画である。



- 蟹満寺縁起(11分・35mm・白黒・無声)  
'24(朝日キネマ合名社) 監・奥田秀彦、木村白山、内田吐夢
- 勤儉貯蓄 塩原多助(10分・35mm・白黒・トーキー版)  
'25(朝日キネマ合名社) 監・木村白山
- ノンキなトウサン電宮参り(10分・35mm・白黒・無声)  
'25(鈴木映画) 監・木村白山

- 映画演説 政治の倫理化(32分・35mm・白黒・無声)  
'26(スマカズ映画制作社) 監・幸内純一
- 漫画 魚の國(15分・35mm・白黒・無声)  
'28(文部省) 監・木村白山
- お江戸の春(6分・35mm・染色・無声・不完全)  
'28(東亜キネマ) 監・正木(植木)統三 監・玉の浦人
- 四十人の盗賊(朱金昭)  
(17分・35mm・白黒・トーキー版)  
'28(銀映社) 監・鈴木俊夫 監・東浦康介 監・米原広 監・上野武夫

### 2 7/6(火)7:00pm 7/28(水)3:00pm 8/14(土)1:00pm

#### 大藤信郎[1](計60分)

独自の“千代紙映画”を開拓した切り紙アニメーションの孤高の巨匠、大藤信郎(1900-1961)。幸内純一の助手を経験したのち、伝統的千代紙をアニメーションに活用しようと発案、自由映画研究所(後に千代紙映画社)を設立して『馬具田城の盗賊』を完成させた。時の新技術に敏感だった大藤は当時研究中の発声作品にも挑戦、『お閨所』『村祭』など、レコード式トーキーによる歌唱映画も送り出した(上映プリントは無声)。なお実写とアニメの合成による試作品『煙り草物語』は現在確認できる大藤の最古の作品である。



- 煙り草物語(3分・35mm・染色・無声)  
'24 監・大藤信郎
- 馬具田城の盗賊(10分・35mm・白黒・無声・短縮版)  
'26(自由映画研究所) 監・大藤信郎
- 切紙細工 西遊記 孫悟空物語(5分・35mm・白黒・無声・不完全)  
'26(自由映画研究所) 監・大藤信郎
- こがねの花(17分・35mm・白黒・無声)  
'29(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- お閨所(8分・35mm・染色・無声)  
'30(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- 児童唱歌映画 村祭(2分・35mm・白黒・無声)  
'30(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- 国歌 君が代(3分・35mm・白黒・無声)  
'31(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- 心の力(12分・35mm・白黒・無声)  
'31(千代紙映画社) 監・大藤信郎

### 3 7/7(水)3:00pm 8/10(火)7:00pm

#### 大藤信郎[2](計67分)

トーキー時代を迎え、上海事変の「爆弾三勇士」にヒントを得た『蛙三勇士』とその姉妹篇『沼の大将』は音声つきの作品となった(上映プリントは無声版)。また『玉手箱』では魚に化けて竜宮城の玉手箱を盗み出そうとした“ちんころ平”が、一転『空の荒鷲』では戦闘機のパイロットに変化、時局を映し出している。『マレー沖海戦』は、ハワイ真珠湾攻撃を描いた『桃太郎の海鷲』と一対の作品として企画されたもので、大藤はこの苛烈な戦争図絵を影絵の手法に託している。

- 蛙三勇士(7分・35mm・調色・無声版)  
'33(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- 沼の大将(8分・16mm・白黒・無声版)  
'33(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- 天狗退治(10分・35mm・白黒・無声版)  
'34(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- マンガ ちんころ平 玉手箱(8分・35mm・白黒)  
'36(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- 空の荒鷲 戦線漫画(8分・35mm・白黒)  
'38(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- マレー沖海戦(26分・35mm・白黒)  
'43(横浜シネマ商会) 監・大藤信郎

### 4 7/7(水)7:00pm 7/29(水)3:00pm 8/15(日)4:00pm

#### 大藤信郎[3](計65分)

- 第2次大戦が終わって動画界が再編されてからも、大藤は自主製作を続けた。色彩時代に入ってから色セロファンに影絵という新分野を開拓し、1927年の自作のロメック『KUJIRA』はカンヌ国際映画祭でピカソやコクトーの激賞を受けたという。
- 蜘蛛の糸(10分・35mm・白黒)  
'46(三幸映画) 監・大藤信郎 監・芥川龍之介
- 雪の夜の夢(9分・35mm・白黒)  
'47(千代紙映画社) 監・大藤信郎
- 聖書幻想譚 アダムとイブ(8分・35mm・カラー)  
'51(日本色彩映画=小西六写真工業) 監・大藤信郎 監・ハイドン 監・網嶋初子、真弓田一夫、臼井正明

- KUJIRA くじら(8分・35mm・カラー)  
'52(千代紙映画社) 監・大藤信郎 監・塚原哲夫
- マンガ 団子兵衛捕物帖 開けごまの巻(四十人の盗賊)(10分・35mm・白黒)  
'52(千代紙映画社) 監・大藤信郎 監・紙恭輔
- 花と蝶(9分・16mm・カラー)  
'54(千代紙映画社) 監・大藤信郎 監・熊川正雄 監・紙恭輔
- YUUREISEN 幽霊船(11分・35mm・カラー)  
'56(千代紙映画社) 監・大藤信郎 監・平井康三郎

### 5 7/8(木)3:00pm 8/11(水)7:00pm

#### 大藤信郎[4]:「古事記」シリーズ(計63分)

『アダムとイブ』にも見られる通り、晩年の大藤は宗教的・神話的なテーマにしばしば近づいたが、その路線を代表するのがこの影絵映画「古事記」シリーズだとと言えるだろう。『竹取物語』を準備中の1961年に死去したが、その翌年、国産アニメの発展に貢献した作品のために「毎日映画コンクール大藤信郎賞」が創設された。

- 古事記抄 天の岩戸開きの巻(8分・35mm・白黒)  
'55(大藤プロ) 監・大藤信郎 監・小野祖父教 監・平井康三郎
- 古事記物語 第貳篇 八岐大蛇退治(10分・35mm・白黒)  
'56(大藤プロ) 監・大藤信郎 監・小野祖父教 監・平井康三郎
- 古事記物語 大國主命といなばの鬼(10分・35mm・白黒)  
'57(大藤プロ) 監・大藤信郎 監・小野祖父教
- 古事記物語 天孫降臨の巻(8分・35mm・パートカラー)  
'58(大藤プロ) 監・大藤信郎 監・小野祖父教 監・平井康三郎
- 古事記物語 皇孫家之三つ石(27分・35mm・白黒)  
'59(大藤プロ) 監・大藤信郎 監・平井康三郎

### 6 7/8(木)7:00pm 7/31(土)1:00pm 8/10(火)3:00pm

#### 山本早苗[1](計67分)

画業を志しつつも、北山清太郎に師事して“漫画映画”の道を歩むこととなった山本善次郎(1898-1981)は「早苗」の画号で作品を量産、国産アニメーションの基礎を築いた人物である。北山の製作による「鬼と亀」ではまだ完成度を高めた独立第1作『娘捨山』は評価を受けて数多くのプリントが発注されたという。その後も衛生思想の普及を狙った『病気の伝播』など文部省の受注作品と、映画館向けの娯楽作の両者にまたがった活躍を見せている。



- 教育お伽漫画 鬼と亀(6分・35mm・白黒・無声)  
'24(ナカジマ活動写真部) 監・戸田(山本)早苗
- 教育線画 娘捨山(16分・35mm・白黒・無声)  
'25(東京漫画倶楽部) 監・戸田(山本)早苗 監・近藤正志
- 線畫 つぼ(17分・35mm・白黒・無声)  
'25(山本漫画製作所) 監・山本早苗
- 病気の伝播(14分・35mm・白黒・無声)  
'26(山本漫画製作所) 監・山本早苗
- お伽断 日本一 桃太郎(9分・35mm・白黒・無声)  
'28(タカマサ映画社) 監・山本早苗 監・相原隆昌
- 日本マンガ太郎さんの冒険撮影(5分・35mm・白黒・トーキー版)  
'29(タカマサ映画社) 監・山本早苗 監・相原隆昌

### 7 7/9(金)3:00pm 8/12(木)7:00pm

#### 山本早苗[2](計72分)

愛らしい動物キャラクターに教育的なテーマを次々と託した山本は、この時期「休む間も無く多忙であった」と述べている。この時期には、敵軍の空襲を撃退するカエルの国を描いた『おいらの非常時』など時局を反映した作品が増えているが、戦後は日本動画の設立をはじめ、現場の統率者として動画界の発展に尽くした。

- 五一ちゃん(11分・35mm・白黒・無声)  
'31(文部省) 監・山本早苗
- 兄弟ごま(11分・35mm・白黒・無声)  
'32(文部省) 監・山本早苗
- おいらの非常時(11分・35mm・白黒・無声)  
'36(日本電報通信社) 監・山本早苗
- なまげぎつね(11分・35mm・白黒・無声)  
'41(文部省) 監・山本早苗
- 敵機来らば(9分・35mm・白黒)  
'42(三幸商会) 監・山本早苗
- お山の総動員(10分・35mm・白黒)  
'42(加治商会) 監・山本早苗
- 子宝行進曲(9分・35mm・白黒)  
'42(加治商会) 監・山本早苗



村田安司 [1] (計82分)

大震災をきっかけに横浜シネマ商会に加わり、緻密な技巧を駆使して切り紙アニメーションの頂点を極めた村田安司(1896-1966)。最初は山本早苗から手ほどきを受けたが、さっそく青地・上野との「黄金トリオ」によりデビュー作『狼蟹合戦』を発表した。学校上映を狙ったため、教訓話がしばしば引き合いに出され、『二つの世界』は「蟻ときりぎりす」、『チュウキチは帰った』は「田舎のねずみと都会のねずみ」とソープの寓話が使われている。



- 狼蟹合戦(5分・35mm・白黒・無声)
27(横浜シネマ商会) 青地忠三 上野行清
梢の骨(9分・35mm・白黒・無声)
27(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 上野行清
漫画 花咲爺(4分・35mm・白黒・無声)
28(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 上野行清
文福茶釜(12分・35mm・白黒・無声)
28(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 上野行清
動物オリンピック大会(11分・35mm・白黒・無声)
28(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 飯田光治
漫画 蛙は蛙(10分・35mm・白黒・無声)
29(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
太郎さんの汽車(5分・35mm・白黒・無声)
29(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 上野行清
瘤取り(5分・35mm・白黒・無声)
29(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
二つの世界(11分・35mm・白黒・無声)
29(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
チュウキチは帰った(10分・35mm・白黒・トーキー版)
29(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 関屋五十二

村田安司 [2] (計84分)

『かうもり』『狼正宗』『驢馬』のような教訓色の強いアニメだけでなく、コミカルな作風もあった村田は『おい等のスキー』『おいらの野球』などギャグに満ちた映画にも軽い持ち味を見せている。また『国歌 君が代』は実写の画面を用い、五線譜の上を白い玉が動く「バウンディング・ボール」のスタイルを持つ作品である。

- スクリーンミュージック 国歌 君が代(3分・35mm・白黒・無声)
30(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 上野行清
漫画 おい等のスキー(9分・35mm・白黒・無声)
30(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
おいらの野球(10分・35mm・白黒・無声)
30(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
漫画 かうもり(9分・35mm・白黒・無声)
30(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 上野行清
漫画 狼正宗(8分・35mm・白黒・トーキー版)
30(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
タヌキのお話(11分・35mm・白黒・トーキー版)
31(横浜シネマ商会) 村田安司 古川緑波
驢馬(14分・35mm・白黒・無声)
31(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
狼は狼だ(11分・35mm・白黒・無声)
31(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
漫画レヴィュー 春(9分・35mm・白黒・無声)
31(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三

村田安司 [3] (計112分)

高価なセルもそろそろ政岡憲三らによって使われていたが、依然として村田は切り紙手法の洗練に心を砕いた。例えば『月の宮の女王様』は、一つ一つ切り紙で作られるキャラクターのあまりの精緻な動きに、セルアニメーションと誤解されるほどであったという。結局、酒場で眠りこける男の夢をテーマにした意欲作『居酒屋の一夜』を最後に村田は横浜シネマ商会を退社する。なお、タヌキと狼が怪魚をしとめる喜劇『お猿の大漁』は村田の第1回トーキー作品である。

- 空の桃太郎(14分・35mm・白黒・無声)
31(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
海の桃太郎(9分・35mm・白黒・無声)
32(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
体育デー(8分・35mm・白黒・無声)
32(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
漫画 豚平と猿吉(8分・35mm・白黒・無声)
32(横浜シネマ商会) 村田安司 高橋蔵二

のらくろ二等兵 教練の巻 演習の巻

- (12分・35mm・白黒・無声)
33(横浜シネマ商会) 村田安司 田河水泡 青地忠三
三公と蛸(20分・35mm・白黒・無声)
33(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
漫画 お猿の大漁(11分・35mm・白黒)
33(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三
のらくろ伍長(11分・35mm・白黒・無声)
34(横浜シネマ商会) 村田安司 田河水泡 青地忠三
月の宮の女王様 [改編版] (11分・35mm・白黒)
34(横浜シネマ商会) 村田安司 青地忠三 三木鶏郎
居酒屋の一夜 [改編版] (8分・35mm・白黒)
36(横浜シネマ商会) 村田安司 今順太 三木鶏郎(オリジナルは吉賀政男)

政岡憲三 (計121分)

若き日は時代劇俳優でもあった政岡憲三(1898-1988)は、セルを日本に導入し、初のフィルムストーリー『力と女の世の中』(1932年)を生み出して、国産アニメ近代化の立役者となった。その代表作は、てんと虫の少女を意地悪なクモから助ける花の物語『くもとちゅうりっぷ』。そして花と蝶のリリカルな世界を描いた戦後アニメの第一声『桜』である。とりわけ戦時下にありながら詩情に満ちた前者は、今も国産アニメの金字塔として揺るぎない評価を得ている。常に優雅さをたたえた政岡の作風は、戦戦後の浮浪児の問題から着想した「トラちゃん」シリーズにも活かされた。なお『茶釜音頭』は可燃性35mmプリント(トーキー)と16mmプリント(無声)をもとに、プラネット映画資料図書館の協力を得て新たに作成した最長版。



- 難船ス物語 第巻 猿ヶ嶋(24分・35mm・白黒・無声)
30(日活大衆漫画映画部) 政岡憲三 清水秀雄 葭屋映治
茶釜音頭(10分・35mm・白黒)
34(政岡映画美術研究所) 政岡憲三 榎本三郎 熊川正雄 桑田良太郎 川島正義 原田誠一
べんけい対ウシワカ(7分・35mm・白黒)
39(日本動画研究所) 政岡憲三 熊川正雄 桑田良太郎
フクちゃん(11分・35mm・白黒)
42(松竹動画研究所) 政岡憲三 桑田良太郎 熊川正雄 土井研二 浅井幸雄
くもとちゅうりっぷ(15分・35mm・白黒)
43(松竹動画研究所) 政岡憲三 横山美智子 桑田良太郎 熊川正雄 土井研二 山本三郎 ほか 弘田竜太郎
桜(春の幻想)(8分・35mm・白黒)
46(日本漫画映画社) 政岡憲三 西倉喜代治 ウェーバー
すて猫トラちゃん(21分・35mm・白黒)
47(日本動画-東宝教育映画) 政岡憲三 佐々木富美男 服部正
トラちゃんと花嫁(15分・35mm・白黒)
48(日本動画) 政岡憲三 松崎与志人 藪下泰次 熊川正雄 中島清 林義雄 ほか 服部正
トラちゃんのカンカン虫(10分・35mm・白黒)
50(日本動画) 政岡憲三 松崎与志人 藪下泰次 熊川正雄 安部幸毅 浜村太郎 ほか 坂本良隆 三枝君子 安斎愛子 村尾護郎

瀬尾光世 [1] (計89分)

プロキネで線画を担当した後、京都の政岡憲三のもとでトーキー・アニメーションを志した瀬尾光世(1911-)は、1933年には独立して日本マンガフィルム研究所を興す。人気のキャラクター『お猿の三吉』や『のらくろ』と映画化、1937年には記録映画でも名高い芸術映画社に入社した。アリの子どもの改心を暖かく描いた秀作『アリちゃん』は、後輩持永只仁が開発した四段多層式の撮影台を使用して作られた最初の映画として知られる。



- お猿の三吉 突撃隊(9分・35mm・白黒)
34(日本マンガフィルム研究所) 瀬尾光世 杉田三郎 西垣鉄雄
元禄恋模様 三吉とおさよ(8分・35mm・白黒・無声)
34(日本マンガフィルム研究所) 瀬尾光世 西垣鉄雄
のらくろ二等兵(11分・35mm・白黒)
35(瀬尾発声漫画研究所) 瀬尾光世 田河水泡 落合朝彦

のらくろ一等兵(10分・35mm・白黒)

- 35(瀬尾発声漫画研究所) 瀬尾光世 田河水泡 落合朝彦
いなばの国の兎さん(7分・35mm・白黒・無声)
35(旭物産合資会社映画部) 瀬尾光世
テク動物語(日の丸旗の助 山賊退治)(10分・35mm・白黒)
38(芸術映画社) 瀬尾光世 三木四郎 中島菊夫
あひる陸戦隊(13分・35mm・白黒)
40(芸術映画社) 瀬尾光世 服部正
テク動物語 四十匹の狼 [改編版] (10分・35mm・白黒)
40(芸術映画社) 瀬尾光世 栗原有蔵
アリちゃん(11分・35mm・白黒)
41(芸術映画社) 瀬尾光世 持永只仁 服部正

瀬尾光世 [2] (計107分)

総スタッフたった4人、瀬尾が独力で約15万枚の動画を描いた『桃太郎の海鷲』と、敗戦直前に公開された日本初の長篇作品『海的神兵』はいずれも戦争アニメーションの白眉とされる。後者は、落下傘部隊のシーンのため実際の動きを徹底研究し、降下の扉から強い光線が飛び込んでくるカットでは国産動画で初めて透過光を使用するなど、リアリズムの表現が特徴的である。この『海的神兵』で「燃えつきってしまった」と語った瀬尾は、『王様のしっぽ』(1949年)を最後に動画の仕事から引退し、絵本作家となった。

- 桃太郎の海鷲(33分・35mm・白黒)
42(芸術映画社) 瀬尾光世 持永只仁 田辺利彦 橋本珠子 塚本静世 栗原有蔵 伊藤昇
海的神兵(74分・35mm・白黒)
45(松竹動画研究所) 瀬尾光世 熊木喜一郎 政岡憲三 桑田良太郎 高木一郎 小幡俊治 木村一郎 古閑裕而

大石郁雄と芦田巖 (計102分)

キャラクターの変身についで変身が楽しいモダンな傑作、『動絵狐狸達引』で一躍注目された大石郁雄(1901-1944)。松竹蒲田撮影所の字幕描きから独立、その後東宝の前身P.C.L.に吸収されてトーキー動画の世界に入った。ハリウッドの漫画映画にも劣らぬセンスが評価されたが、惜しくも太平洋戦争中に戦死しており、『ポン助の腕くらべ』は戦前作品の改編版と推測される。また大石門下の芦田巖は、P.C.L.を離れて自らの会社を興し、戦後まで粘り強い製作活動が続けたアニメーターである。特に『アリアン・ナイトの翻案』『バグダッド姫』(上映は不完全版)はフルアニメーションによる苦心の力作である。



- 動絵狐狸達引(11分・35mm・白黒)
33(P.C.L.漫画部) 大石郁雄 市野正二 藤田浩
トーキーの話(10分・35mm・白黒)
36(P.C.L.) 大石郁雄 川口政一
森の五匹の動物たち(五匹の力)(7分・35mm・白黒)
37(芦田漫画製作所) 鈴木宏昌(芦田巖)
海國太郎 新日本島萬歳(8分・35mm・白黒)
38(三幸商会漫画部) 鈴木宏昌(芦田巖) 暮田博臣 船本栄司 福田三郎
動物防諜戦(10分・35mm・白黒)
41(国光教育映画社) 鈴木宏昌(芦田巖) 古沢秀雄 下倉彌一郎
協力防空戦(10分・35mm・白黒)
42(宏昌漫画映画研究所) 芦田宏昌(巖) 鈴木京一 福田三郎 大工原章 坂上信二
バグダッド姫(37分・35mm・白黒・不完全)
48(三幸映画社) 芦田巖 川西昭治 福田三郎 服部良一
ポン助の腕くらべ(9分・35mm・白黒)
51(東宝教育映画) 大石郁雄 若林敏郎 池塚



くもとちゅうりっぷ







23 7/18(日)1:00pm 8/20(金)7:00pm

戦前・戦中作品集[1] (計67分)

無声映画の時代から高まっていたアニメーション作りの機運は、上記パイオニアたちの仕事に止まるものではない。童謡歌手平井英子の歌った女子小学生の生活を、歌詞のまま漫画映画に構成した『茶目子』(残念ながら無声)、村山篤子・知義の才人カッパルによる洒落な童話から生まれたモダンリズムの粋『三匹の小熊さん』、アメリカの名キャラクターを使った小型映画作家荻野茂二の9.5mm映画『FELIXノ迷探偵』(35mmブローアップ版)など、国産アニメの様々な胎動を紹介する。

茶目子(5分・35mm・白黒・無声)

'31(協力映画製作社)◎西倉喜代治

あめや狸(4分・35mm・白黒・無声)

'31(十字屋小型映画部)

三匹の小熊さん(10分・35mm・白黒・無声)

'31(婦人之友社)◎岩崎崋◎村山篤子◎村山知義◎並木晋作

FELIXノ迷探偵(9分・35mm・白黒・無声)

'32(荻野茂二)

漫画の列国陸軍(28分・35mm・白黒・無声・不完全)

'32(桜井映画製作所)

與七郎の敬禮(11分・35mm・白黒・無声)

'33(文部省)◎木村白山

24 7/18(日)4:00pm 8/24(木)7:00pm

戦前・戦中作品集[2] (計73分)

1930年代の後半から太平洋戦争期にかけての諸作。「火の玉小僧」シリーズや『海の小勇士』は、後の1947年に手塚治虫とともに漫画『新宝島』を送り出した酒井七馬がアニメーターだった時代の珍しい作品。また、日本映画の巨匠市川崋は、「シリー・シンフォニー」シリーズなどのディズニー漫画映画に心酔して京都J.O.スタジオの漫画部に入ったのが映画界入りのきっかけであった。市川の動画作品のうち、唯一残存している『新説カチカチ山』を上映する。

忍術 火の玉小僧 江戸の巻(10分・35mm・白黒)

'35(日活京都漫画部)◎田中興志◎舟木俊一、永久博郎、酒井七馬ほか◎白木義信

火の玉小僧 山賊退治(9分・35mm・白黒)

'35(日活京都漫画部)◎田中興志◎細井太郎、酒井七馬、永久博郎ほか◎白木義信

新説カチカチ山(6分・35mm・白黒)

'36(J.O.トーキー漫画部)◎市川崋◎西山明男

お日様と蛙(10分・35mm・白黒・無声)

'36(横浜シネマ商会)◎宮下萬三◎杉山省三

風さわぎ[改編版](10分・35mm・白黒・無声)

'36(オールキネマ社)◎西倉喜代治

漫画 夢の招集令(9分・35mm・白黒)

'38(三幸商会)

チュウ兒の羽衣(11分・16mm・白黒・無声)

'41(土田商会)◎山口貞三

発声漫画 海の小勇士(8分・35mm・白黒)

'42(日本映画科学研究所)◎酒井七馬◎木村角山◎大阪マンガ會◎野村直弘

25 7/20(水)3:00pm 8/21(土)4:00pm

戦後作品集[1] (計112分)

敗戦を経て、国産アニメーションは教育映画の分野に生き残りを賭けた。東宝教育映画などを根拠に、作家たちが集合離散を繰り返しながら新しいアニメを模索した時代の力作を紹介する。早坂文雄によるフルオーケストラの音楽を得た『ムクの木の話』は、四季の移り変わりを生きる一本の老木に新時代への希望を託した作品。また「キツネ」シリーズはこの時期のヒット作、『鶏になったボチ』は時代劇の才人寿々喜多呂九平が演出にあたったという珍しい一本である。

森の鍛冶屋(8分・35mm・白黒)

'46(日本短編映画社)◎土井研二◎山室正男◎浅野野◎林修ほか◎弘田龍太郎

カチカチ山の消防隊(7分・35mm・白黒)

'47(日本漫画映画社)◎小幡俊治◎小鱈英一◎村田安司◎西垣鉄雄

ムクの木の話(20分・35mm・白黒)

'47(東宝教育映画)◎丸山章治◎山田耕造◎若林敏郎、上野武雄◎早坂文雄

にわとりと友達(14分・35mm・白黒)

'47(日本教育映画社)◎前田一

キツネとヒヨコ(8分・35mm・白黒)

'47(近代映画)◎森野佐登志(浅野恵)◎小柳耕二◎枝島昭◎里見修

キツネとサーカス(9分・35mm・白黒)

'48(近代映画)◎森野佐登志(浅野恵)◎小柳耕二◎枝島昭◎里見修

キツネと子守唄(7分・35mm・白黒)

'48(近代映画)◎森野佐登志(浅野恵)◎小柳耕二◎枝島昭◎里見修

まさかつかいで(6分・35mm・白黒)

'48(日本漫画映画社)◎古澤日出夫◎土金好祐◎喜多村保◎伊藤宣二

鶏になったボチ(8分・35mm・白黒)

'48(京都映画)◎寿々喜多呂九平◎木村久次郎◎神脇集男、小沼武、福森繁◎高橋半

古池繕巻 蛙と狐(9分・35mm・白黒)

'49(東宝教育映画)◎西尾善行◎山田耕造◎山田順治◎琴寄金二、鈴木淳夫、奈良次雄◎上野武夫◎安倍盛

小人とおお虫(16分・16mm・白黒)

'50(東宝教育映画)◎木村白山◎古沢秀雄◎肥塚あきら◎松崎貞志◎東理仁朗◎熊川正雄、浜康雅、もりやすじ、北島道雄、小幡俊治◎坂本良隆

26 7/20(水)7:00pm 8/22(日)4:00pm

戦後作品集[2] (計92分)

多くの動画スタッフを擁した日本動画社は1952年に日動映画に改編され、芦田巖のもとから旅立った大工原章など、力量あるアニメーターたちがこの日動でキャリアを積んでいる。さらに東映による教育映画部の設立は、国産アニメーションの刷新を準備した。動物漫画で人気の花野原芳明に白羽の矢が立った『かつぱのばあ太郎』など、大飛躍前夜の作品をまとめて上映する。

ありとほど(15分・35mm・白黒)

'53(日動映画)◎湯原甫◎古澤日出夫、森やすじ◎進藤進、新城一ほか◎高城泰策、石川光明◎坂本良隆

トラちゃんの冒険(14分・35mm・白黒)

'55(日動映画)◎湯原甫◎高城泰策、石川光明◎大工原章◎長寿美子、若松一、岡田弥生、内山孝◎坂本良隆

王女とゆびわ 印度劇刺「ジャクランター姫」より(15分・35mm・カラー)

'56(東映教育映画部)◎原信◎佐藤昌道◎森健二

かつぱのばあ太郎(13分・35mm・白黒)

'57(東映教育映画部)◎花野原芳明◎熊川正雄◎森武雄◎笹山茂、野沢和夫、内山孝ほか◎伊藤宣二

ころもり[白黒版](9分・16mm・白黒)

'58(中井プロ)◎上野武夫◎中井兵衛◎東喜三郎、田中和男、井山忠行ほか◎古沢博

ポロギター(26分・16mm・カラー)

'59(学習研究社)◎小野豪◎中村聖、平井寛◎高山良策、佐々木章、加藤清治◎有馬征子、新倉都子、千原玲子◎林光◎川久保潔、須永宏、加藤玉枝、伊島幸子

27 7/21(水)3:00pm 8/3(水)7:00pm 8/28(土)1:00pm

長篇カラー動画の誕生[1]

中国の民話に題材を採り、青年と白蛇の精である娘との恋愛をロマンティックに描いた、藪下泰司の演出による日本初の長篇カラー・アニメーション。1956年に日動映画を吸収して「東洋のディズニー」を名乗った東映映画にとって、動画6万5000枚という本作は新時代を画する偉業となった。当時の日本ではあまり知らなかったパンダなど、動物キャラクターのコメディ・リリーフも素晴らしい。

白蛇伝(79分・35mm・カラー)

'58(東映動画)◎藪下泰司◎原信◎矢代静一◎塚原孝吉、石川光明◎大工原章、森康二◎大塚康生、坂本雄作、喜多真佐治、紺野修司、中村和子、寺千賀雄ほか◎岡部一彦、橋本潔◎木下忠司、池田正義、鎌木創◎森繁久弥、宮城まり子

28 7/21(水)7:00pm 7/30(金)3:00pm 8/29(日)1:00pm

長篇カラー動画の誕生[2]

東映動画のカラー長篇第2作は、檀一雄の新聞連載小説をベースに、戸隠山で忍術を極めた佐助が、山賊とともに悪事をはたらく妖術使い夜叉姫を倒す時代劇アニメーション。映画の大型化の波を受けてシネマスコープ・サイズを導入した本作は、東映の俳優たちを声の出演に起用し、ミュージカルの趣もある作品に仕上がっている。

少年猿飛佐助(83分・35mm・カラー)

'59(東映動画)◎藪下泰司、大工原章◎檀一雄◎村松道平◎大塚晴郷、石川光明、山本明生◎大工原章、古澤日出夫、大塚康生、森康二、熊川正雄◎楠部大吉郎、寺千賀雄、中村和子、紺野修司、喜多真佐治、杉山卓ほか◎進藤謙吾◎船村徹◎中村賢津雄、桜町弘子、宮崎照男、松島トモ子、薄田研二、赤木春恵、吉田義夫、堺駿二

29 7/22(木)3:00pm 8/3(水)3:00pm 8/29(日)4:00pm

長篇カラー動画の誕生[3]

漫画界の巨星手塚治虫の「ぼくのおよめさん」を下敷きにし、手塚本人が陣頭指揮を執り、キャラクター設定と絵コンテ、ストーリーボードまで作ったという記念碑的な一本。黒澤明映画でも知られる植草圭之助がシナリオを書いたが、ナンセンスなギャグもふんだんに詰め込まれ、最後には孫悟空と牛魔王の痛快な対決シーンへと至る。その後手塚は虫プロダクションを設立、漫画執筆の傍らテレビアニメ量産の道を歩んでゆく。

西遊記(88分・35mm・カラー)

'60(東映動画)◎藪下泰司◎尾手塚治虫◎植草圭之助◎大塚晴郷、石川光明、杉山健児◎森康二、熊川正雄、大塚康生、大工原章、古澤日出夫◎紺野修司、喜多真佐治、楠部大吉郎、奥山玲子、寺千賀雄、月岡貞夫ほか◎矢野雅章、沼井肇◎服部良一◎小宮山清、新道乃里子、木下秀雄、篠田節夫、関根信昭、白坂道子、武田国久、尾崎勝子、加藤玉枝、巖金四郎

30 7/23(金)3:00pm 8/7(土)4:00pm 8/26(木)7:00pm

岡本忠成[1] (計79分)

手作りによる個性豊かな短篇作品で、わが国におけるアニメーションの歴史に大きな足跡を残した岡本忠成。『ふしぎなくすり』は岡本が(株)エコーを設立して手がけた最初の作品。星新一の短篇を原作とする他の3本とともに、デフォルメされたキャラクターやスピーディな動きで従来の「人形映画」のイメージを覆して話題を呼んだ。また、既製曲に合わせて作られた「うたのシリーズ」では荒々しい木彫りの人形からペーパーカットまで作品ごとに異なる素材を試み、初のセルアニメ「チコタン」でも濃度の高い絵の具による塗りムラを残しながらクレヨンのタッチを加えるという手間のかけかたで表現の限界に挑んでいる。

ふしぎなくすり(14分・16mm・カラー)

'65(電通映画社)◎岡本忠成◎星新一◎村治夫◎吉岡謙◎田畑精一、保坂純子◎園哲太郎、マガリ文子◎真鍋理一郎

ようこそ宇宙人(14分・16mm・カラー)

'66(電通映画社)◎岡本忠成◎星新一◎村治夫◎吉岡謙◎田畑精一、保坂純子◎及川功一、マガリ文子◎広瀬量平◎眞理よし子、明石一、香山裕、滝口順平、白石冬美

キツツキ計画(15分・16mm・カラー)

'66(電通映画社)◎岡本忠成◎星新一◎村治夫◎吉岡謙◎田畑精一、保坂純子◎及川功一◎広瀬量平◎中村正、近石真介

うたのシリーズ

十人の小さなインディアン(2分・35mm・カラー)

'68(エコー)◎岡本忠成◎吉岡謙◎田畑精一、保坂純子◎及川功一、上原隆哉、見月豊◎宮澤洋一

おしちゃんか海賊だった頃(4分・35mm・カラー)

'68(エコー)◎岡本忠成◎吉岡謙◎田畑精一、保坂純子◎及川功一◎横山菁児

ホーム・マイホーム(4分・35mm・カラー)

'70(エコー)◎岡本忠成◎吉岡謙、田村実◎保坂純子◎田畑博司、真賀里文子◎横山菁児

花ともぐら(15分・35mm・カラー)

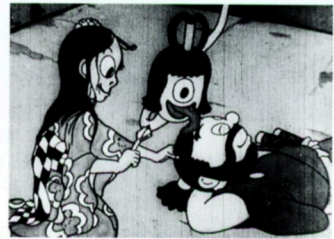
'70(学習研究社)◎岡本忠成◎星新一◎坂間雅子、来道子◎吉岡謙、田村実◎田畑精一、保坂純子、斎藤堅◎見月豊、真賀里文子、及川功一◎及川功一◎岸田今日子

チコタン ぼくのおよめさん(11分・35mm・カラー)

'71(学習研究社)◎岡本忠成◎坂間雅子、来道子◎田村実◎吉岡謙◎真賀里文子、秦泉寺博、及川功一◎小前隆、徳山正美、数藤雅三◎南安雄



かんがーるの誕生日



漫画 證戒寺の狸断り 塙田右衛門



月	火	水	木	金	土	日
7月	1 漫画映画の先駆者たち (計101分)	3 大藤信郎 [2] (計67分)	5 大藤信郎 [4] (計63分)	7 山本早苗 [2] (計72分)	9 村田安司 [2] (計84分)	11 政岡憲三 (計121分)
	2 大藤信郎 [1] (計60分)	4 大藤信郎 [3] (計65分)	6 山本早苗 [1] (計67分)	8 村田安司 [1] (計82分)	10 村田安司 [3] (計112分)	12 瀬尾光世 [1] (計89分)
	13 瀬尾光世 [2] (計107分)	15 田中喜次と持永只仁 (計113分)	17 片岡芳太郎と「お猿の三吉」シリーズ (計84分)	19 熊川正雄と桑田良太郎 (計96分)	21 横山隆一 [2] (計69分)	23 戦前・戦中作品集 [1] (計67分)
	14 大石郁雄と芦田巖 (計102分)	16 佐藤吟次郎と「マー坊」シリーズ (計97分)	18 荒井和五郎 (計101分)	20 横山隆一 [1] (計72分)	22 数下泰司 (計74分)	24 戦前・戦中作品集 [2] (計73分)
	25 戦後作品集 [1] (計112分)	27 長篇カラー動画の誕生 [1] (79分)	29 長篇カラー動画の誕生 [3] (88分)	30 岡本忠成 [1] (計79分)	32 岡本忠成 [3] (計72分)	34 岡本忠成 [5] (計70分)
	26 戦後作品集 [2] (計92分)	28 長篇カラー動画の誕生 [2] (83分)	1 漫画映画の先駆者たち (計101分)	31 岡本忠成 [2] (計68分)	33 岡本忠成 [4] (計75分)	35 岡本忠成 [6] (計77分)
	36 川本喜八郎 [1] (計103分)	2 大藤信郎 [1] (計60分)	4 大藤信郎 [3] (計65分)	28 長篇カラー動画の誕生 [2] (83分)	6 山本早苗 [1] (計67分)	20 横山隆一 [1] (計72分)
	37 川本喜八郎 [2] (計112分)	11 政岡憲三 (計121分)	13 瀬尾光世 [2] (計107分)	15 田中喜次と持永只仁 (計113分)	8 村田安司 [1] (計82分)	18 荒井和五郎 (計101分)
	29 長篇カラー動画の誕生 [3] (88分)	22 数下泰司 (計74分)	35 岡本忠成 [6] (計77分)	33 岡本忠成 [4] (計75分)	31 岡本忠成 [2] (計68分)	37 川本喜八郎 [2] (計112分)
	27 長篇カラー動画の誕生 [1] (79分)	36 川本喜八郎 [1] (計103分)	32 岡本忠成 [3] (計72分)	34 岡本忠成 [5] (計70分)	30 岡本忠成 [1] (計79分)	1 漫画映画の先駆者たち (計101分)
	6 山本早苗 [1] (計67分)	8 村田安司 [1] (計82分)	9 村田安司 [2] (計84分)	10 村田安司 [3] (計112分)	2 大藤信郎 [1] (計60分)	13 瀬尾光世 [2] (計107分)
	3 大藤信郎 [2] (計67分)	5 大藤信郎 [4] (計63分)	7 山本早苗 [2] (計72分)	12 瀬尾光世 [1] (計89分)	14 大石郁雄と芦田巖 (計102分)	4 大藤信郎 [3] (計65分)
11 政岡憲三 (計121分)	20 横山隆一 [1] (計72分)	16 佐藤吟次郎と「マー坊」シリーズ (計97分)	37 川本喜八郎 [2] (計112分)	15 田中喜次と持永只仁 (計113分)	19 熊川正雄と桑田良太郎 (計96分)	
17 片岡芳太郎と「お猿の三吉」シリーズ (計84分)	21 横山隆一 [2] (計69分)	22 数下泰司 (計74分)	23 戦前・戦中作品集 [1] (計67分)	25 戦後作品集 [1] (計112分)	26 戦後作品集 [2] (計92分)	
18 荒井和五郎 (計101分)	31 岡本忠成 [2] (計68分)	34 岡本忠成 [5] (計70分)	32 岡本忠成 [3] (計72分)	27 長篇カラー動画の誕生 [1] (79分)	28 長篇カラー動画の誕生 [2] (83分)	
24 戦前・戦中作品集 [2] (計73分)	33 岡本忠成 [4] (計75分)	30 岡本忠成 [1] (計79分)	35 岡本忠成 [6] (計77分)	36 川本喜八郎 [1] (計103分)	29 長篇カラー動画の誕生 [3] (88分)	
8月	29 長篇カラー動画の誕生 [3] (88分)	22 数下泰司 (計74分)	35 岡本忠成 [6] (計77分)	33 岡本忠成 [4] (計75分)	31 岡本忠成 [2] (計68分)	37 川本喜八郎 [2] (計112分)
	27 長篇カラー動画の誕生 [1] (79分)	36 川本喜八郎 [1] (計103分)	32 岡本忠成 [3] (計72分)	34 岡本忠成 [5] (計70分)	30 岡本忠成 [1] (計79分)	1 漫画映画の先駆者たち (計101分)
	6 山本早苗 [1] (計67分)	8 村田安司 [1] (計82分)	9 村田安司 [2] (計84分)	10 村田安司 [3] (計112分)	2 大藤信郎 [1] (計60分)	13 瀬尾光世 [2] (計107分)
	3 大藤信郎 [2] (計67分)	5 大藤信郎 [4] (計63分)	7 山本早苗 [2] (計72分)	12 瀬尾光世 [1] (計89分)	14 大石郁雄と芦田巖 (計102分)	4 大藤信郎 [3] (計65分)
	11 政岡憲三 (計121分)	20 横山隆一 [1] (計72分)	16 佐藤吟次郎と「マー坊」シリーズ (計97分)	37 川本喜八郎 [2] (計112分)	15 田中喜次と持永只仁 (計113分)	19 熊川正雄と桑田良太郎 (計96分)
	17 片岡芳太郎と「お猿の三吉」シリーズ (計84分)	21 横山隆一 [2] (計69分)	22 数下泰司 (計74分)	23 戦前・戦中作品集 [1] (計67分)	25 戦後作品集 [1] (計112分)	26 戦後作品集 [2] (計92分)
	18 荒井和五郎 (計101分)	31 岡本忠成 [2] (計68分)	34 岡本忠成 [5] (計70分)	32 岡本忠成 [3] (計72分)	27 長篇カラー動画の誕生 [1] (79分)	28 長篇カラー動画の誕生 [2] (83分)
	24 戦前・戦中作品集 [2] (計73分)	33 岡本忠成 [4] (計75分)	30 岡本忠成 [1] (計79分)	35 岡本忠成 [6] (計77分)	36 川本喜八郎 [1] (計103分)	29 長篇カラー動画の誕生 [3] (88分)

■造形作品を展示室にて公開しています。

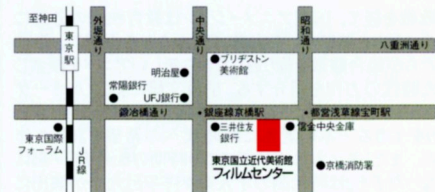


12月のうた

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイヴやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイヴ連盟 (FIAF) の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

- 地下鉄銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- 地下鉄有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600  
東京国立近代美術館ホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/>